

留学生が取るべき就活戦略

- 日本式一括採用は「あいまいにされる期待」、「画一的な選考基準」、「活動の加熱」の三つの特徴*があります。
- このような目に見えない特徴が留学生の就職活動をさらに難しくさせています

日本式一括採用の特徴

内容及び問題点

留学生が取るべき戦略

あいまいにされる期待

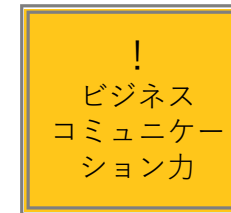
- キャリアについて確認しあうことができない
- 雇用条件などが将来への期待として避ける傾向がある



仕事を通して何を実現したいのか、どのようなキャリアを目指す留学生の事情に合わせてイメージする

画一的な選考基準

- 即戦力ではなく、ポテンシャル重視
- 協調性やコミュニケーションなどの画一的な評価基準



自分の良さを的確にアピールできるようにトレーニングを重ねる

活動の加熱

- 募集の段階で大きな母集団形成に注力する
- 名門校への同質な競争が過熱する
- ミスマッチが起こりやすい



ブルーオーシャン戦略で企業を選ぶ側に立つ

*「採用学」により抜粋

留学生の就職に必要な力を強化する

1

キャリア
ビジョン

働くことや、自分のキャリアビジョンを考えることがとても大切です。それがなければ、企業選びの条件や基準があいまいになってしまうため、就職活動の中でも常に情報に惑わされ、情報収集や判断に迷うことが多い。また、就職後でも、目的意識がはっきりしない場合は、環境や日々の些細な出来事に影響されやすく、不満がたまりやすく、安易な転職や離職につながりやすい

2

企業を評価する
力

企業選びは恋人選びと一緒です。長く一緒にいるから、様々な角度から情報収集をする必要がある。でも一番大事なのは、好きでなければつらくなります。印象や口コミだけではなく、確かな企業の分析スキルが大切です。

3

日本語
(敬語) 力

日本で仕事する以上、敬語が欠かせない。敬語は大人のコミュニケーションのお化粧です。外国人だけではなく、日本人でも変な敬語が笑われます。基本教養としてたくさん練習して身につけよう

4

面接対応力

面接は試験ではなく、舞台です。自己印象をコントロールする訓練が必要です。面接担当は何を見るのかを知る必要があります。基礎を押さえ、しっかり準備すれば面接は簡単です。

5

ビジネスコ
ミュニケー
ション力

ビジネスに必要なコミュニケーション力を理解、体験する必要があります。事実と意見の違い、要点をまとめる、ディスカッション、意見を述べるなど、まず知って、意識して使ってみるところから始めよう

・就職力アップ実践ワークショップ（マインド）

- ・各モジュールがワークショップ形式で行い、組み合わせて行うことができます
- ・グループワークや個人ワークなどのアプローチを多く取り入れ、会社生活に必要なコミュニケーションスタイルを実践で体験できます
- ・留学生として日本企業10数年の経験を活かし、実体験などを交えながら、リアルな職場、仕事をイメージして頂くことができます
- ・1コンテンツは1時間～2時間がスタンダードです

マインド

就職の捉え方

- ・就職の流れを知る
- ・日本の就職の特徴
- ・【グループワーク】本国との違い
- ・【個人ワーク】自分自身の志向
- ・働くこととは
- ・自分の価値観を知る
- ・自分にとって魅力的な会社の定義
- ・【グループワーク】留学生の強みと弱み
- ・効率よく、確かな情報収集の仕方

企業の目線を知る

- ・社員になることとバイトの違い
- ・ビジネスの流れ、会社の仕組みを理解する
- ・経営と人事の関係
- ・社員はどう評価される
- ・会社職場の常識
- ・【グループワーク】留学生への期待
- ・本国との違い
- ・【グループワーク】企業情報をどう読み取るか
- ・調べるのは収入だけではない

キャリアを考える

- ・【グループワーク】働くこととは
- ・自分の価値観を知る
- ・【個人ワーク】仕事に求めるもの、目的を明確にする
- ・【グループワーク】自分の就職のゴール
- ・キャリアについてのイメージ
- ・仕事選びの条件を決める
- ・キャリアプラン
- ・ほかの選択肢
- ・【グループワーク】留学生の強みと弱み

就職力アップ実践ワークショップ(スキル)

- 各モジュールがワークショップ形式で行い、組み合わせて行うことができます
- グループワークや個人ワークなどのアプローチを多く取り入れ、会社生活に必要なコミュニケーションスタイルを実践で体験できます
- 留学生として日本企業10数年の経験を活かし、実体験などを交えながら、リアルな職場、仕事をイメージして頂くことができます
- 1コンテンツは1時間～2時間がスタンダードです

